

日本豆乳協会 加盟企業

日本豆乳協会は、1979年(昭和54年)の設立以来、豆乳の認知と普及を目的に様々な啓発活動を行っています。現在の日本豆乳協会の活動を支援し、共に協力している加盟企業は以下の通りです。

■ キッコーマンソイフーズ株式会社

豆乳の代名詞ともいえるべきキッコーマンの豆乳は、最も多くの生産量を誇っています。すべての豆乳類には、大豆特有のニオイを抑え、栄養素を最大限に活かすことが可能な抽出技術「ネオデオライザー製法」を採用しています。



■ マルサンアイ株式会社

“時流に乗ったアイデア”で新たなフレーバーを開発するなど、夢のある楽しい豆乳製品の開発を行っています。また、豆乳に加えて、日本の伝統食である味噌にも注力しています。



■ 不二製油株式会社

新・クリアー製法を用い雑味を取り除かれた味わいの豆乳製品をはじめ、デザート、アイスクリーム、和風素材まで幅広く豆乳製品を展開しています。その他、油脂、大豆を原料とする食品素材の製造も行っています。



■ 株式会社ふくれん

九州産の大豆「ふくゆたか」を使った豆乳をはじめ、清涼飲料水、乳飲料、酒類、生鮮食品などの製造販売や、青果物の包装・カット加工販売を行っています。特に、地元の農産物の特性を活かした商品・技術開発に取り組んでいます。



■ 日本テトラパック株式会社

豆乳のLLパックをはじめ、食品が消費される多様な場面でのソリューションを提供しています。特に、「液体を紙で包む」技術を更に掘り下げ、環境対応性をも視野に入れた食品の包装・加工を行っています。



(2024年7月現在)